

第3回 薩摩川内市総合戦略検討委員会

資料1 地方創生に向けた課題意識・
総合戦略を考える際のポイント

平成27年7月9日

薩摩川内市

企画政策課

地方創生に向けた課題意識

【人口分析による傾向】

- ・人口減少と少子高齢化の進展
- ・合計特殊出生率は、国や県の水準よりも高い
- ・全体的に転出超過傾向で、15～19歳、20～24歳に転出超過、55歳以上は転入超過。
- ・転出先は「鹿児島市」(817人)、「福岡県」(371人)、「東京圏」(303人)、「大阪圏」(168人)、「熊本県」(150人)等(平成25年:住民基本台帳人口移動報告)
- ・川内地域内転居が多く、東郷、樋脇地域等から川内地域への転居も多い。他

【委員からのご意見(課題意識)】

- ・**廃業する事業所の増加**
- ・**地域産業の発展と雇用増加**
- ・**耕作放棄地等一次産業への対応**
- ・**若者の雇用の場づくり**
- ・男女の出会いの場づくり
- ・甕島観光等観光施策の充実
- ・子育て層への支援、環境づくり
- ・特色ある大学、専門学校づくり
- ・介護施設不足、医療・福祉従事者不足
- ・高齢者向け施策の充実
- ・予防医療に向けた取組み
- ・地域で支え合う環境づくり
- ・地域コミュニティの担い手減少
- ・コンパクトシティの形成
- ・公共施設のマネジメント推進、他

【想定される課題解決の方向性】

若年層が市内で働ける魅力ある雇用の場づくりと充実

しごと

薩摩川内産業の課題解決と特性を活かした産業振興と雇用対策

しごと

若年層が生活しやすい(「帰ってきやすい」含む)環境づくり

ひと

子育てしやすい環境づくり

ひと

高齢層が安心して暮らせる生活環境づくり

まち

持続可能な都市環境づくり

まち

薩摩川内での交流機会づくりと交流人口の増加

しごと・ひと

薩摩川内市の総合戦略を考える際のポイント

10年後の薩摩川内市のあり方を考えて…

◇働いていることによるメリット！

基本

◇住んでいることによるメリット！

必要な施策、充実すべき施策

◇子育て、医療等の生活支援環境のメリット！

◇安全・安心・快適な都市基盤が整っている

必要な施策、充実すべき施策

◇魅力や価値の分かる人が多く訪れる

必要な施策、充実すべき施策の拡充へ

これらを包含した総合戦略づくり